

MLA48

NEWS
LETTER

2019年7月15日
No.165

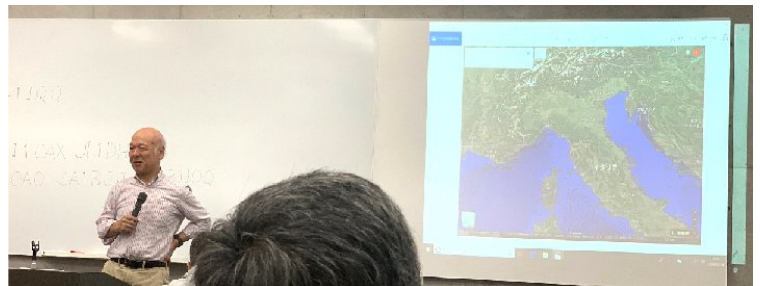
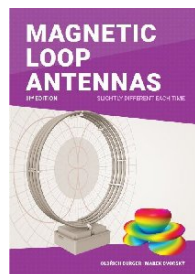
MLA48プロジェクト

108 Members



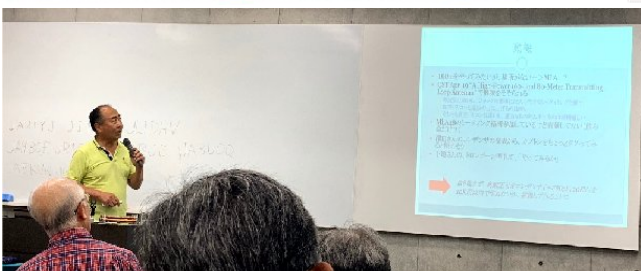
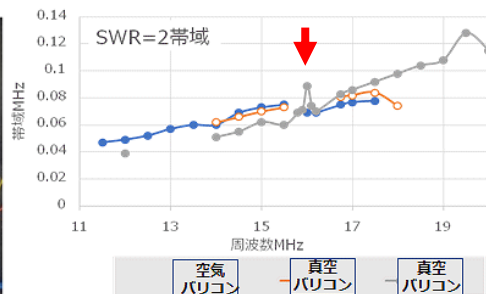
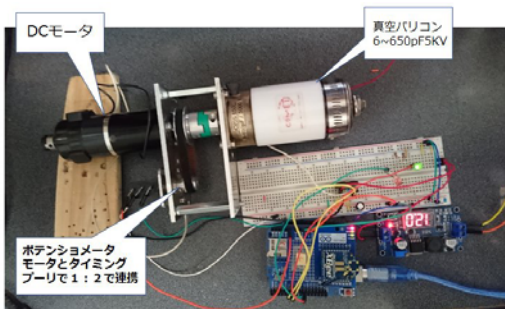
7月度ミーティング(MLA48 通算第119回)

梅雨寒が続く7月14(日)、横浜で**MLA48プロジェクト**ミーティングを開催しました。お知らせの後は**JJ1QBB 梅沢さん**から「チェコで無線、ウィーンで観光の旅」のスケジュール説明と、**OK2ER, Oldaさん**の共著書籍も頒布(希望者にご連絡ください)。また、アルミパイプ1m角のMLAキット化で、コンデンサ部のアイデアを募集。

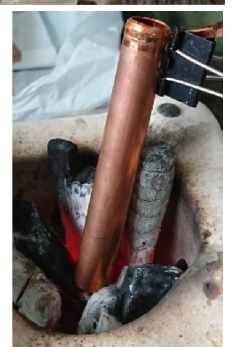


続いては**JF1IQQ 下地さん**の「ポーランドの**マルコーニ記念館**探訪記」。事前登録のメールに返事が無く、通っているのかは不明なまま心配でしたが、現地で再度連絡して見学できたとのこと。運良くJR2PAUご夫妻ご一行と合流できて、ハム局**IY4FGM**も見学されました。展示品でフシギだったのは磁石にベルトを移動させて検波する装置(写真)で、実際のラジオ放送が聞こえていたそうです。

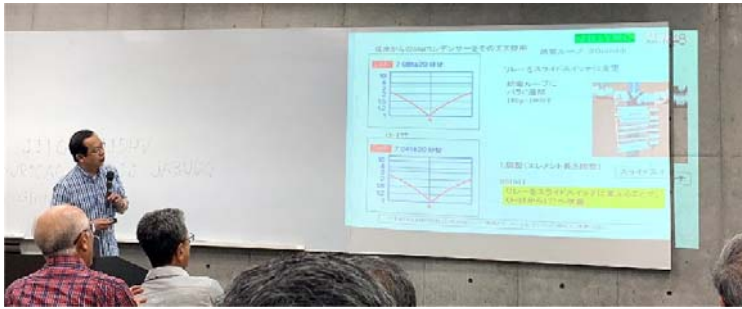
フシギ編は**JF1VNR 戸越さん**の「真空コンデンサを使ってみた!」。LCRメータDE5000の100kHzで測定したQ値はふらついたのですが、1.2m径銅パイプのMLAに実装したら、7MHzから21MHzまでカバーできました(屋内測定)。SWR=2の帯域幅のグラフをプロットすると16MHz周辺で特異な変化が現れました(下図の中央)。ループ長は3.78mで、16MHzの波長は18.75mなので、久々の「魔の $\lambda/5 (=3.75m)$ 」か?**JR1OAO 中島さん**の再現実験では見つからなかったとのこと。



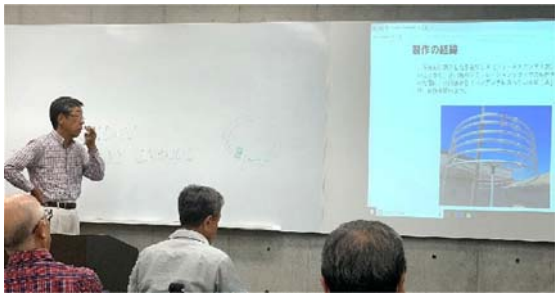
フリー編は、**JA2IYJ 山田さん**の「MLA用高耐圧コンデンサ試作」。160m用MLAを作ろうとバリコンを試作。下地さんのトロンボーン型で、銅パイプにリード線を半田付けする際、卓上七輪でパイプを温めたとのこと。絶縁体はポリイミドテープ



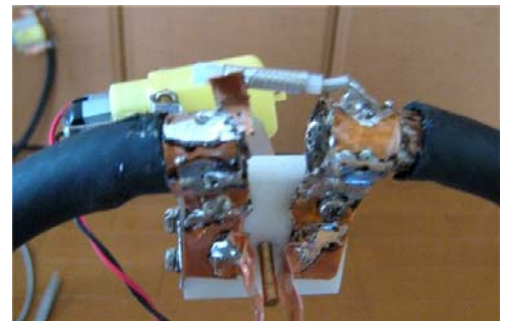
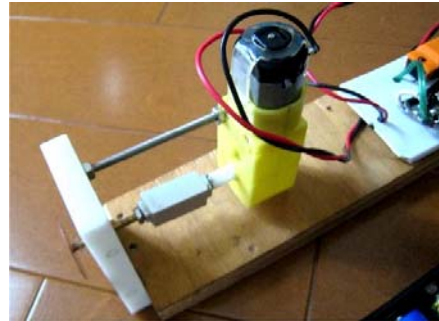
で、万力の上にパイプを載せて、上から広げたテープを被せて中心から少しずつ指で擦って接着させるとFBだった由。さらに容量を増やす必要があるの、今後も発表してください。



J11CAX澤田さんは、前回に続いて「デジタルバリコンPART4」の発表。リレーをスライドスイッチに換えたところQが35から177に改善でき、ディップマイカでは327なので、今後、低損失の切り替え構造を検討とのこと。

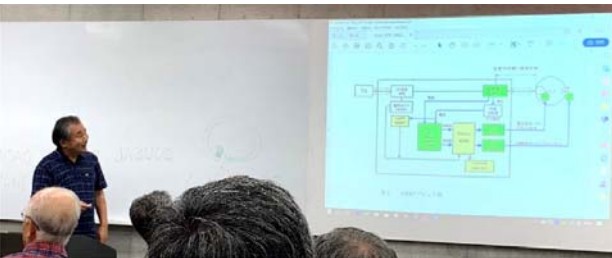


JL1DHV今住さんからは「21MHz用コンデンサレスヘリカルMLAの製作」。なまし銅管を塩ビパイプの支持に巻き付けてベランダで実験。手すりや戸袋に近づけるとSWRが大きく変化すること。両端はオープンなので、電界が集中して金属の影響が大きいようです。長いポールで屋根を越えて設置したレポートもお願いいたします。

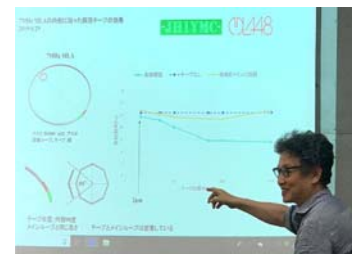


JA1BJJ大島さんからは、前回に続いて「回転円板同調方式採用MLAの試作」。今回は四角形のパイプと四角形の棒を利用。回転して円板の軸が伸びてきてもこれを吸収できる「伸びチジミ自由の接手」です。また、2枚の極板の間を3mmねじが出入りする「極板・ピン方式」も試作。コンデンサ部分を下にしたベルト使用法に変えたので、上にしたときとの違いを詳しく調べる予定とのこと。

JA3UOQ/1原田さんからは、「急増するFT8の現況」の発表で、大ブレイク中とのこと。DXがオープンすると、CW、SSBは静かでもFT8だけは鈴なりという状況で、ペディションではまるで抽選を待つよう(hi)だと...



JA9BQE/1橋場さんには、**デジタルPAT**の解説を論文形式でまとめていただきました。ハムフェアでも配布予定とのこと。**JR10AO 中島さん**にも、アナログPATのおさらいとして、QEX



JF11QQ JJ1QBB JA3UOQ J11CAX JA1UHJ J11DCS JL1DHV JR10AO JA1GTZ JK1MKP JA5KVK
JA21YJ JA1HIS JA1BJJ
JG1UNE JE1WTR JF1LKS JA4CKC JA1AVV JF1VNR JA9BQE JJ1BMB

Japan No.25 の記事「自動同調整合追従器」で解説いただきました。

終了時間を15分オーバーしましたが、最後は**JA5KVK/1 小川さん**と**JG1UNE小暮**が、前回に続いて「銅箔テープの効果」を特急で発表。薄膜モデルを電磁界シミュレーションで検証する難しさがわかりました。実測で、違いが

判明するのか?どなたか是非チャレンジを!
(各資料はDropbox) DE JG1UNE

